

文学館だより

令和 3 年 1 月 1 日
若山牧水記念文学館
TEL 0982 - 68 - 9511
文 責 日 高

釣り得たる鮎とりにがし笑ふ時し父がわらひは瀬に響きにき

少年の日の故郷での鮎釣りの思い出を歌った「鮎つりの思ひ出」の中の一詩。鮎釣りの父の声は、涼しい溪流の水の響きとともに、いつまでも心の中で清らかに響いていることを歌っている。昭和 2 年正月詠。

【大谷和子『短歌の意味がすぐわかる！名歌即訳 若山牧水』参照
短歌の表記は『若山牧水全歌集』による】

今年もよろしくお願いたします

あけましておめでとうございます
皆さまにとってよき一年でありますようお祈り申し上げます
一年間、見送ってきた企画展を今年も開催できるよう祈りながら、
今年もたくさんの方々とお会いできることを楽しみにしております
5日（火）より開館して、皆さまのご来館をお待ちしております
今年もどうぞよろしくお願いたします



企画展示室が模様替え

『牧水かるたができるまで』『牧水記念館ができるまで』

昭和 26 年、「東郷村若山牧水顕彰会」が発足して 70 年。現在は「日向若山牧水顕彰会」と名称こそ変わりましたが、以前と変わらず、さまざまな顕彰活動を行い、全国に牧水先生の魅力を発信しています。

今回は、「牧水かるたができるまで」「牧水記念館ができるまで」を同時開催しています。先人たちの牧水顕彰の歴史をご堪能いただけるものと思います。しかしながら、会期が 1 月 17 日（日）までと短くございます。期日をご確認の上、お越してください。

『牧水かるたができるまで』

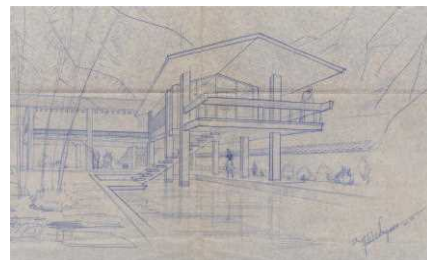
約 9,000 首と言われる牧水短歌から 100 首に絞られるまでの選歌過程を直筆選歌資料とともに解説しています。



牧水かるたの変遷

『牧水記念館ができるまで』

牧水長男旅人氏設計による牧水記念館の設計資料ほかを展示しています。合わせて、牧水生家修復前の懐かしの写真も展示しています。



旅人氏による
スケッチ

今後の予定

やむを得ず予定変更する場合がございます。
詳細については 改めてお知らせします。

日 時	内 容	会 場
1 月 17 日(日)	高森文夫を偲ぶ詩大会表彰式 9:30 ~	牧水公園ふるさとの家(坪谷)
23 日(土)	企画展「若山牧水賞展」 3 月中旬まで	若山牧水記念文学館
2 月 2 日(火)	第 25 回若山牧水賞授賞式及び受賞祝賀会	宮崎観光ホテル(宮崎市)
2 月 3 日(水)	若山牧水賞受賞者 学校訪問	延岡学園高校尚学館高等部
	若山牧水賞受賞者 文学館来訪	若山牧水記念文学館
	若山牧水賞受賞者 受賞記念講演会	日向市中央公民館(日向市)
4 月 ~	企画展 三浦家寄贈資料公開展「繁と敏夫 - 受け継がれた二人の絆」	

第10回青の國若山牧水短歌大会受賞記念品を贈る

コロナ感染拡大を懸念して、今年度はやむを得ず表彰式を中止いたしました。全国から受賞者をお迎えすることができず、重ねて受賞作品のご披露、講評が聞けず、寂しい思いです。今年は通常どおり開催できることを祈りながら、第11回の準備に入っていきます。受賞者の皆さまには、楯、賞状等滞りなく発送いたしました。

大賞、最優秀賞、優秀賞、優良賞の皆さまには、受賞作品の入った楯をお贈りしました。



佳作の皆さまには、賞状と受賞作品の入った湯のみをお贈りしました。



受賞者全員に、入賞作品集をお贈りしました。



第11回もたくさんのご応募お待ちしております。

坪谷小学校『第35回 牧水ヶ丘祭り』に寄せて

牧水生誕100周年を記念して、坪谷小学校内に歌碑が建立されました。歌碑一角を「牧水ヶ丘」と呼び、今日に至るまで「牧水ヶ丘祭り」が開催されています。

昨年12月6日(日)「第35回 牧水ヶ丘祭り」が行われ、その中で、つばやっこたちの短歌が発表されました。感動で胸いっぱいです。

くろいつつのぞいてみるとキラキラだぼくへのごほうびサーモンまきだよ	1年 平井 杏樹さん
はやくきていちばんすきなげつようびみんなにあいたいがつこうはじまれ	1年 山口 創大さん
見つけるとうれしくなるよアオバズクにんじゃのようにかくれめいじん	2年 岡村 真聖さん
いもうとのわらったかおがすきなんだいつもえがおで元気に生きて	2年 海野 輝陽さん
牧水祭空を見上げていってきますすきもちのこもった言葉をとどける	3年 青木龍之介さん
あお虫が葉っぱを食べる全しんでがんばれがんばれ大きくなれよ	3年 山口 和志さん
起きんかと赤おに父さんやってくる兄とふるえてパッと目覚める	3年 柏田 佳波さん
なんでかないつもぼくだけ蚊はさすの右は七か所左は四か所	3年 山床 拓真さん
暑い日につめたいあいつにかぶりつくシャキッとひびくスイカのメロディ	4年 上田 容平さん
夕焼けににている山のあまがきをからすよぼくにも運んでおくれ	5年 後藤 颯介さん
ありたちが家のお宝探し出すわたしもなりたい甘味探偵	6年 三浦 柚希さん
もどらないたった一つのろうそくをコロナの風から共に守ろう	6年 那須陵太郎さん

生家が花いっぱいです

いつも生家を気にかけてくださっている方がいらっしやいます。往復1時間、何度も何度も来てくださいます。

顕彰会員のみなさん、地域のみなさんに、こうして私たちは支えられています。

ありがとうございます。

